

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2394200139		
法人名	社会法人 長福会		
事業所名	グループホーム デイパーク大府 1階		
所在地	大府市横根町箕手94番地の3		
自己評価作成日	令和3年1月2日	評価結果市町村受理日	令和3年6月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&Jigy_osvoCd=2394200139-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人『サークル・福寿草』		
所在地	愛知県名古屋市中熱田区三本松町13番19号		
訪問調査日	令和3年3月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私達は利用者の思い、生活スタイルを大切に、一人の望む生活に向けた支援に努めて頂きます。

コロナ禍で離れている家族との絆を大切にしていきたいと思ひます。

身体機能低下を防ぐ様、リハビリに力を入れます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

今年度は、地域の方との交流が困難になっているが、地域に開かれた事業所を目指す取り組みについては、運営法人全体で行われている。例年は、運営法人で行われている行事に多くの方が参加しており、地域の方との交流の機会がつけられている。ホームでも、関連事業所で行われている行事に参加する機会をつくる等、地域の方との交流や利用者の外出の機会につなげている。ホームの職員体制については、常勤職員中心の少人数のチームによる支援体制がつけられており、日常的に職員間で情報交換を行いながら利用者一人ひとりに合わせた支援につなげている。職員研修も年間を通じて実施しており、資質向上につなげる取り組みが行われている。また、毎月のホーム便りには、職員間で利用者一人ひとりに合わせた報告が添えられており、家族への細かな情報提供が行われている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念をホームの玄関に掲示している。管理者より会議での発言や日頃の指導で各スタッフに共有し実践につなげています。	運営法人の理念を支援の基本に考え、職員会議等を通じて理念を共有する取り組みが行われている。理念には地域に開かれた施設を目指す内容も掲げられており、ホームでも前向きな取り組みが行われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所への散歩で地域の方への挨拶は心掛けています。月に一回の敷地内の掃除に参加しています。	地域の方との交流については、運営法人全体で積極的な取り組みが行われており、ホームでもボランティアの方等を通じた交流が行われている。今年度については、感染症問題が続いていることで、様々な行事等が中止になる等の影響が出ている。	地域の方との交流の取り組みについては、運営法人全体で前向きな取り組みが行われていることもあるため、今後の感染症の状況もみながら、地域の方との交流が再開することを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナの影響で地域の方との交流ができていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナの影響で開催ができず、書面での意見交換を実施しています。ご家族からの意見を頂き対応しています。	今年度は書面による実施となっているが、会議を開催する際には、様々な分野の方の参加が得られており、定期的な情報交換の機会にもつながっている。家族の参加も得られており、交流の機会がつけられている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市からの報告事項などホームの掲示板に貼り情報共有している。コロナに関する事が多いですが対策等の情報を周知しています	市担当部署や広域連合等、行政機関との連携については、運営法人全体で行われており、市の福祉施策の推進にもつながる取り組みが行われている。ホームでも研修会等に参加する等、情報交換につながる機会がつけられている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束虐待防止委員会を通して拘束をしないケアに取り組んでいます。玄関の施錠も現在は行っていません。	身体拘束を行わない方針で支援が行われており、利用者がフロアから出入りできる構造でもあるため、職員間で利用者の見守りが行われている。また、運営法人と連携しながら、身体拘束に関する検討委員会や職員研修が行われている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会や身体拘束虐待防止委員会を通して虐待防止に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度を利用している利用者様はいますが、職員全体での権利擁護に関する制度の理解が出来ていないのが現状です		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に管理者が対応しています。また利用者や御家族からの不安や疑問点がないか伺いながら対応しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議で書面での意見を頂いたり、面会時に職員が意見を頂いた時は、フロア会議等で意見交換し対応している	現状、家族との交流が困難な状況が続いているが、リモート面会を実施する等、随時の情報交換の機会をつくっている。家族からの要望等は、内容にも合わせてリーダー、管理者、施設長で対応している。また、毎月の利用者毎の便りの作成が行われている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体会議やフロア会議で意見交換しています	毎月の職員会議や運営法人の幹部会議等を通じて、職員からの意見等をホームの運営に反映する取り組みが行われている。また、リーダーによる定期的な職員面談を実施しており、面談の内容を管理者に報告し、職員一人ひとりの把握につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	自己評価表やアンケート用紙、上半期・下半期の評価表などを活用して努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人の勉強会や外部のコーチング研修、オンデマンド研修など学ぶ場があり活用している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	パソコンにて通信ネットワークを通して活用しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	環境変化に対する不安や今後生活していくための要望をしっかりと聞き取り、安心して頂くためにケアに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	利用者様同様、ご家族にも要望をしっかりと聞き取り安心して頂くよう努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	今できる支援を考えて提案し行動できるケアに努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の暮らしの中で体調の変化を把握し職員間で共有しています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	コロナの影響でご家族との面会が制限されている中で電話やテレビ電話または手紙(年賀状など)を活用しながらを大事にし努めています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	すべての利用者に出ていませんが、アルバムや知人の手紙、面会等には歓迎し継続して頂けるよう努めています	現状、外部の方との交流が困難な状況が続いているが、以前は、入居前からの関係の方がホームに訪問したり、関連事業所で生活している身内の方との交流を継続する支援が行われている。また、家族との交流が継続できるような支援も行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士のトラブルもありますが、個々の関係性を把握しつつ利用者が嫌な思いをしないように対応している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相談があれば対応するよう努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の思いや意向を聞き取り、支援に反映するように努めています	職員間で利用者を担当する取り組みも行いながら、利用者一人ひとりの意向等の把握を行い、日常的に職員間での情報を共有につなげている。また、毎月のフロア会議を通じたカンファレンスも行われており、利用者の意向等の検討が行われている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	基本情報から読み取ったり、ご本人との会話の中での生活環境を伺ったりして支援に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	体調変化や心身状態を把握し、時間経過と共に観察し対応に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	計画作成担当者を中心に作成し、ご家族からの要望、利用者の意向をフロア会議で意見交換し介護計画に組み込んでいます	介護計画については、6か月を基本に見直しが行われており、利用者の状態変化等に合わせた随時の見直しも行われている。また、日常的にも1日1ページの記録用紙の活用も行いながら、利用者の現状をチェックし定期的なモニタリングにつなげている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	1日の様子を介護記録に記入し共有しています。記録用紙の書式改善を行っています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	コロナの影響で関わりが制限されて取り組めていません。機能訓練のリハビリは継続しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナの影響で外出が制限され地域資源との関わりが来ていません		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的に受診に行ったり、ホーム対応の協力医も往診に来て下さったりしています	協力医による医療面での支援が行われているが、現状、多くの利用者が入居前からのかかりつけ医を継続しており、家族と連携しながら受診等が行われている。また、関連事業所の看護師との連携も行われており、利用者の健康面での支援につなげている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	体調変化や異常がみられた時は看護師に報告し対応しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者を中心に行っています。コロナの影響で入院時の面会が制限され情報が把握できないときもありました。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ADLの低下でホームでの生活が困難になりえる想定が出来そうなときはあらかじめご家族の意向を伺い特養への移動等を提案している	ホームでの看取り支援を想定していないが、利用者や家族の意向等にも対応した支援も行われており、過去には、協力医と連携しながら看取り支援が行われている。運営法人に特養があることで、利用者の身体状態等に合わせた移行支援も行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の対応や事故発生時の事故報告書からの振り返りを会議で話し合い周知している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練の実施は消防署を通して行っています	年2回を基本に避難訓練が行われているが、今年度は水害も想定しながら3回の訓練を実施している。夜間を想定した訓練や通報装置の確認も行われている。また、備蓄品については、ホーム内と関連事業所に必要量が確保されている。	非常災害については、運営法人の関連事業所とも連携した対策が行われているが、ホームの立地場所が関連事業所から離れた場所でもあるため、近隣の方との継続した交流等の取り組みにも期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人格、尊厳を大切にして声掛けするように心掛けています。職員の言葉使いは常に課題があるのが現状です。	職員との個別面談等の機会も活用しながら、利用者への対応等を意識するような取り組みが行われている。利用者のおしゃれに関する支援や接遇に関する職員研修の実施等、利用者を尊重する対応や言葉遣いを振り返る機会がつけられている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の意思を尊重し、ご本人が何を望んでいるかを自己決定できるように選択肢を与える言葉かけを心掛けています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人のペースで過ごして頂けるように言葉かけをしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	女性利用者が多いので尊重し対応しています。定期的に理美容を利用して頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の盛り付け、お皿洗いなど食事全般の関わりを持って頂くよう支援に努めています	おかず類は関連事業所の事業所の厨房から提供されているが、ご飯と味噌汁はホームのキッチンで用意している。利用者もできることに参加する機会がつけられている。また、ホームで食事を作る取り組みや季節等に合わせた食事の提供も行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	基本的には厨房より管理栄養士の献立の調理を提供しています。又、各利用者の好き嫌いを把握し提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケア(歯磨き・義歯洗浄)を実施しています。歯科受診が必要な方は受診しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	ご本人の排泄パターンを把握し個々に応じた対応をしています。紙おむつやパッドに頼らず、排泄動作の自立を心掛けています	排泄に関する記録を細かく残しており、日常的に職員間で情報を共有しながら利用者に合わせて排泄方法を検討している。利用者の中には、トイレで排泄できるように改善したり、布パンツに移行した方もあり、職員間での検討が続けられている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘傾向の利用者には運動の声掛けや排便促進効果の飲食を促しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている。	週に3回実施しています。	利用者が週2～3回の入浴ができるように支援が行われており、一人ひとりに合わせた声かけ等を行う取り組みが行われている。利用者の身体状態にも合わせて職員2名で対応する支援も行われている。また、季節等に合わせた入浴も行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりのペースでご本人が休みたいときに休息して頂き、就眠環境にも配慮したいようしています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬剤師からの処方薬の説明表をもとに確認しています。定期薬以外に頓服薬・外用薬の使用事項も表にして共有しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	コロナの影響で外出が制限されている中で、個々の趣味や興味あることを提供し楽しんで頂けるよう心掛けています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している。	コロナの影響で外出が制限されています。散歩や外気浴、密や外部の接触を避けた外出を心掛けて対応しています	現状の感染症問題が続いていることで、今まで行われていた関連事業所の行事や近隣にある喫茶店に出かける等の取り組みが中止になる等の影響が出ている。職員間で検討しながら、日常的にホームの外を散歩する等、現状で可能な取り組みが行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お預かりしているお金から買い物の希望があれば対応しています。外出制限で一緒に買い物が行けていないのが現状です		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人からの希望があれば対応しています。 年賀状作成しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者にとって不快のない空間作りに心掛けています。場所表示や、備品の名前表示をして混乱を避ける心掛けをしています	リビングの窓が大きくつくられていることで、ホーム内は採光に優れており、利用者は日中の時間を明るい雰囲気でも過ごしている。また、玄関先にプランターを置き、利用者と外に出る機会をつくる等、開放的な空間をつくる取り組みが行われている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者の席位置や、導線を考えたレイアウトなどその時に応じた対応をして空間作りに心掛けています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人の過ごしやすい・動きやすいレイアウトを考えています。壁に飾り物や写真を飾り工夫しています	居室には、利用者の入居前からの使い慣れた家具類や趣味の物等の持ち込みが行われており、一人ひとりに合わせた居室づくりが行われている。また、居室内に収納スペースがつけられていることで、持ち込みが多い方も居室内を広く使うことができる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	転倒や躓きが無いように導線に障害物を作らないよう心掛けています。衣類タンスにわかりやすく収納表示をしています。		